

平成 27 年度「英語能力判定テスト」における 矢田西中学校の結果の概要と今後の取組について

大阪市では、生徒の英語力の充実と向上を図るため、教育振興基本計画*に基づき、英語イノベーション事業*の一環として、「英語能力判定テスト」を実施いたしました。このテストの目的は、生徒が自らの英語力を的確に把握するとともに、学校における英語の指導の改善を図ることにあります。

学習指導要領における中学校英語の目標は、4技能（「読む」「聞く」「話す」「書く」）を総合的に活用できるコミュニケーション能力の育成と示されております。本テストで測定できるのは英語力の一部ですが、本校では、結果をふまえ、生徒の総合的な英語力向上を目指してまいります。

- 1 目 的
- (1) グローバル社会において活躍し貢献できる人材の育成をめざし、生徒の英語力の充実・向上を図るため、本市教育振興基本計画に基づき、生徒に求められる英語力や学習の習熟過程等を把握・検証する。
 - (2) 生徒が自らの英語力を的確に把握するとともに、生徒の英語力の実態を分析することにより、各学校における学習指導の改善、工夫に役立てる。

2 対 象 大阪市立全中学校 生徒 1～3年生

3 実 施 日

- ・ 3 年生 平成 27 年 11 月 9 日（月）
- ・ 2 年生 平成 28 年 2 月 5 日（金）
- ・ 1 年生 平成 28 年 2 月 5 日（金）

4 内 容

学年	テストの種類	テストの難易度	テスト内容		満点 スコア
			筆記問題	リスニング問題	
3 年	テストD	英検 3～5 級レベル	50 題	30 題	460 点
2 年	テストE	英検 4～5 級レベル	40 題	25 題	400 点
1 年	テストF	英検 5 級レベル	25 題	25 題	340 点

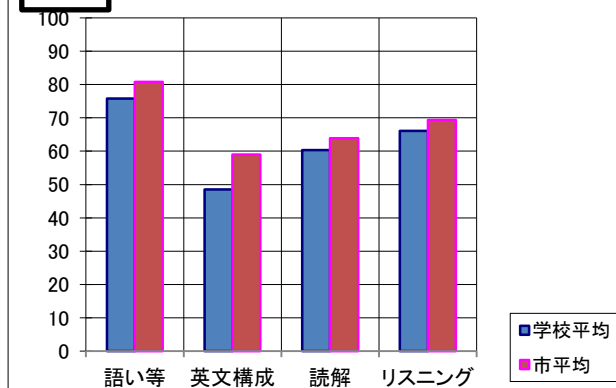
*教育振興基本計画…本市の教育振興のための施策に関する基本的な計画

*英語イノベーション事業…本市の英語教育強化を図るための事業

平成27年度「英語能力判定テスト」結果の概要と今後の取組 【 矢田西中学校 】

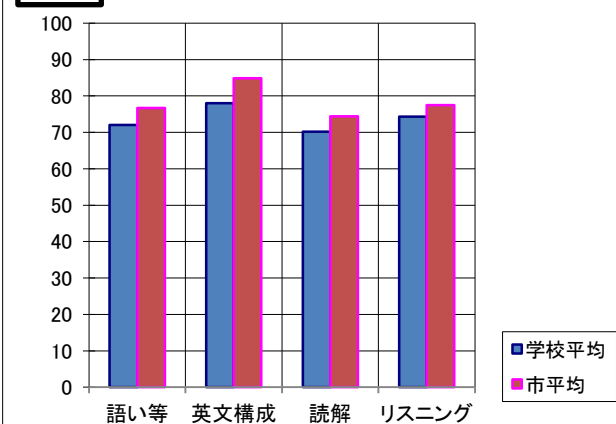
3年	語い等	英文構成	読解	リスニング
学校平均	75.8	48.5	60.3	66.1
市平均	80.8	59.0	63.9	69.4

3年



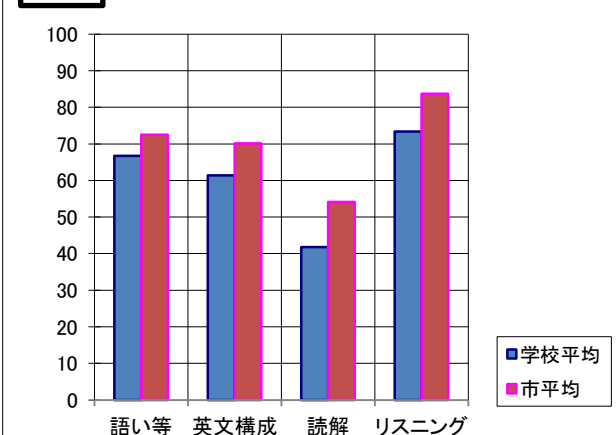
2年	語い等	英文構成	読解	リスニング
学校平均	72	78	70.2	74.3
市平均	76.7	84.9	74.4	77.5

2年



1年	語い等	英文構成	読解	リスニング
学校平均	66.7	61.4	41.8	73.4
市平均	72.5	70.1	54.1	83.7

1年



結果の概要と結果をふまえた今後の取組

※各学年において実施したテストはそれぞれ種類が異なるため、学年間の正答率を比較することはできません。

3年

英検3～5級レベル:スコア 0～460点

《結果の概要》

すべての項目において正答率が70%を超えた。しかし、市の平均には及ばず、全体的な能力育成が必要である。

《結果をふまえた今後の取組》

語いの定着に関しては、基礎的・基本的な単語から復習し、単語テストを継続して行う。「英文構成」は、基本的な語順や文法を復習し、同時に英文の多読を通して「読解力」の向上を目指す。

2年

英検4～5級レベル:スコア 0～400点

《結果の概要》

3項目で正答率が60%を超えた。特に「リスニング」では昨年から約5%向上した。

また、「読解」では5割を割っているが、昨年に比べて約4割向上している。

《結果をふまえた今後の取組》

語い力を高めるため、単語テストや音声指導を継続して行う。また、英文を読みながら読解力、英文の構成について学ぶ時間を多めに確保し、4技能をバランスよく高めていく。

1年

英検5級レベル:スコア 0～340点

《結果の概要》

3項目で正答率が60%を超えた。しかし、「読解」では5割を割っている。

《結果をふまえた今後の取組》

「語彙」は単語テストを通して、今後も継続して向上させていく。「読解」については全体を読み解く力をつけさせるため、多くの説明文や物語文に触れさせる。その中で、単語や文法事項を復習し、英文構成にも慣れさせる。